

家族でモルックに初挑戦！

家族みんなで実際にモルックを体験し、その魅力を感じてもらいました。

今回は、伊藤さん一家がモルックに挑戦。初めてモルックを体験する家族はどのようなところに楽しさを感じたのでしょうか。

3歳・5歳の子供たちは、初めて手にする木の棒（モルック）に少し戸惑いましたが、モルックを投げてピン（スキットル）を倒すというシンプルなルールのため、すぐに挑戦し始めることができました。しかし、思ったところに飛ばず苦笑いする場面も。何度か投げるうちにコツをつかみ、狙ったピンが倒れると「やった！」と大喜びしていました。

いつしか子供から大人まで、自然と声援が飛び交い夢中に。プレーが進むにつれて「次はどこを狙えばよいの？」「もっと優しく投げてみよう。」と家族の会話が弾んでいきました。こうした作戦タイムは誰もができるニュースポーツならではの醍醐味（だいごみ）といえるでしょう。

モルックを体験してみて

参加者に感想を聞きました。

ママ「運動不足でも最後まで楽しめました。」

パパ「いい運動になりました。大人も本気になっちゃいます。」

5歳長女「ピンがたくさん倒れると楽しい。もう一度やりたい！」

モルックの魅力は、ルールがわかりやすいことに加え、狙う・投げる・考える・会話するという楽しさにあります。



はじめはピンに当たらず「意外に難しい！！」と悔しがる場面も



親子ともに真剣



「全員当たった！」



慣れると、狙いを決める作戦タイム開始

地域スポーツを支える

スポーツ推進委員って？



地域で活躍するその姿に迫る

スポーツ推進委員をご存知でしょうか。地域の皆さんが安全に楽しくスポーツに親しめるよう、地域で活躍する非常勤公務員です。

具体的な活動内容ややりがいについて沼津市スポーツ推進委員連絡協議会副会長の芹澤信行さんにお話を伺いました。



――普段どのような活動をしていますか？

各地区での活動と市と連携した活動の2つがあります。各地区では、行事の企画・運営等をしています。

市と連携した活動としては、大会を運営するにあたり審判講習会や実技講習会に参加したり、委員会ごとに会合を行ったりしています。





――具体的にどのようなイベントに携わっていますか？

大きな大会としては、シニアソフトボール大会や、カーリングをフロアでできるよう考案されたカローリング大会、ソフトバレーボール大会、毎年冬に開催する軽スポーツ大会の4つがあります。

――15年間も委員を務めていらっしゃいますが、「やっていてよかった」と感じた出来事はありますか？

毎年秋に戸田で行われるカローリング大会の参加者から「とても楽しかった。来年も頑張って参加するから、芹澤さんもまた来てね。」と言ってもらえた時に、喜びと認められた達成感を感じました。

――ニュースポーツの魅力は、どんなところにありますか？

容易に、気軽に楽しめるところです。年齢や性別に関係なく誰でも始められます。色々な立場の人が一緒に笑い合える。人とのつながりも感じられます。

――実際にニュースポーツを始めた人からは、どのような反応がありますか？

ニュースポーツの中でも競技性が強いソフトバレーボール大会や軽スポーツ大会の参加者からは、「これからももっと続けてもっと強くなりたい！」といった声がありました。家族で参加するチームもいて大変にぎわっていますよ。

スポーツ推進委員は、地域の人が気軽にスポーツを楽しむきっかけをつくる存在です。ニュースポーツの魅力をこれからも地域に広げていってくれることでしょう。

大会のご紹介

■ **第16回ぬまづソフトバレーボール大会**

時 12月13日㈰

所 香陵アリーナ

対 市内に住むか通勤・通学する中学生以上の人で構成されたチーム

チーム編成／①混合一般の部＝男女各2人または男子1人・女子3人②一般女子の部＝女子4人（いずれも登録は5人以上8人以内）

申 11月17日㈫、17時までに市ホームページにある所定の用紙を市役所7階ウィズスポーツ課に直接、郵送またはメールで（必着）

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

ホームページ

■ **第10回軽スポーツ大会**

今冬も開催！家族や仲間と一緒にニュースポーツの腕試しをしてみませんか。

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

ホームページ

申問 **沼津市スポーツ推進委員連絡協議会事務局（ウィズスポーツ課内）**
☎055-934-4875